

2022年（令和4年） 研究業績

講座名： 神経生物学・形態学講座

所属長名： 小池 正人

区分	番号	学位論文	全著者名	論文名	掲載誌名, 掲載年; 巻(号): ページ番号	国際共同
英文原著	1		Sou YS, Yamaguchi J, Kameda H, Masuda K, Maeda Y, Uchiyama Y, Koike M.	GPHR-mediated acidification of the Golgi lumen is essential for cholesterol biosynthesis in the brain.	FEBS Lett. 2022; 596(22): 2873-2888	
英文原著	2		Nakamura Y, Yahiro T, Fukushima A, Kataoka N, Hioki H, Nakamura K.	Prostaglandin EP3 receptor-expressing preoptic neurons bidirectionally control body temperature via tonic GABAergic signaling.	Sci Adv., 2022;8(51): eadd5463.	
英文原著	3		Yamauchi K, Okamoto S, Ishida Y, Konno K, Hoshino K, Furuta T, Takahashi M, Koike M, Isa K, Watanabe M, Isa T, Hioki H.	Fluorochromized Tyramide-Glucose Oxidase as a multiplex fluorescent tyramide signal amplification system for histochemical analysis.	Sci Rep., 2022;12(1): 14807.	
英文原著	4		Yamauchi K, Furuta T, Okamoto S, Takahashi M, Koike M, Hioki H.	Protocol for multi-scale light microscopy/electron microscopy neuronal imaging in mouse brain tissue.	STAR Protoc., 2022;3(3): 101508.	
英文原著	5		Yamauchi K, Okamoto S, Takahashi M, Koike M, Furuta T, Hioki H.	A Tissue Clearing Method for Neuronal Imaging from Mesoscopic to Microscopic Scales.	J Vis Exp., 2022;183: e63941.	
英文原著	6		Zhao Q, Ito T, Soko C, Hori Y, Furuyama T, Hioki H, Konno K, Yamasaki M, Watanabe M, Ohtsuka S, Ono M, Kato N, Yamamoto R.	Histochemical characterization of the dorsal raphe-periaqueductal grey dopamine transporter neurons projecting to the extended amygdala.	eNeuro., 2022;9(3): ENEURO.0121-22.2022.	
英文原著	7		Yoshioka Y, Tachibana Y, Uesaka T, Hioki H, Sato Y, Fukumoto T, Enomoto H.	Uts2b is a microbiota-regulated gene expressed in vagal afferent neurons connected to enteroendocrine cells producing cholecystokinin.	Biochem Biophys Res Commun., 2022;608(11): 66-72.	
英文原著	8		Kuramoto E, Tanaka YR, Hioki H, Goto T, Kaneko T.	Local Connections of Pyramidal Neurons to Parvalbumin-Producing Interneurons in Motor-Associated Cortical Areas of Mice.	eNeuro., 2022;9(1): ENEURO.0567-20.2021.	
英文原著	9		Furuta T, Yamauchi K, Okamoto S, Takahashi M, Kakuta S, Ishida Y, Takenaka A, Yoshida A, Uchiyama Y, Koike M, Isa K, Isa T, Hioki H.	Multi-scale light microscopy/electron microscopy neuronal imaging from brain to synapse with a tissue clearing method, ScaleSF.	iScience., 2022;25(1): 103601.	
英文原著	10		De Mazière A, van der Beek J, van Dijk S, de Heus C, Reggioli F, Koike M, Klumperman J.	An optimized protocol for immuno-electron microscopy of endogenous LC3.	Autophagy., 2022;18(12): 3004-3022.	○
区分	番号		発表者名	発表タイトル(題目・演題・課題等)	学会名, 場所, 発表年月日等	国際共同
国際学会発表	1		Hioki H, Yamauchi K, Furuta T.	A Multiscale imaging from macroscopic to nanoscopic levels with a tissue clearing method, ScaleSF.	Third Japan-Canada Microscopy Societies Joint Symposium 2022, Kurashiki, Japan. Nov 4, 2022	
区分	番号		著者名	論文名	掲載誌名, 掲載年; 巻(号): ページ番号	国際共同
和文総説	1		小池正人	パーキンソン病とリソソーム	生体の科学, 2022; 73(3): 256-260	
区分	番号		発表者名	発表タイトル(題目・演題・課題等)	学会名, 場所, 発表年月日等	国際共同

国内学会発表	1	吉野佑太郎、横田睦美、角田宗一郎、志賀孝宏、石川景一、岡野栄之、服部信孝、赤松和土、小池正人、	PRKN変異患者ドパミン神経細胞におけるミトコンドリア小胞体間接触の解析、	第127回日本解剖学会総会・全国学術集会、オンライン開催、2022年3月27日	
国内学会発表	2	日置寛之、山内健太、古田貴寛、	組織透明化技術を介したマクロレベルからナノレベルへのズームイン法	第127回日本解剖学会総会・全国学術集会、オンライン開催2022年3月27日	
国内学会発表	3	高橋慧、岡本慎一郎、山内健太、小林朋世、小池正人、伊佐正、日置寛之、	The distribution of GABAergic neuron subtypes in the mouse claustrum.	第127回日本解剖学会総会・全国学術集会、オンライン開催、2022年3月27日	
国内学会発表	4	岡本和樹、上窪裕二、山内健太、岡本慎一郎、高橋慧、石田葉子、小池正人、池谷裕二、櫻井隆、日置寛之、	AAV-PHP.eBベクターによる海馬CA2野特異的遺伝子導入、	第127回日本解剖学会総会・全国学術集会、オンライン開催、2022年3月27日	
国内学会発表	5	山内健太、星野希沙良、石田葉子、小池正人、日置寛之、	Nanobody-based Three-dimensional Immunohistochemical Detection with a Tyramide Signal Amplification Method, FT-GO.	第127回日本解剖学会総会・全国学術集会、オンライン開催、2022年3月28日	
国内学会発表	6	曾友深、前田裕輔、木下夕ウ、小池正人	ゴルジ体酸性環境が担う適切な糖鎖修飾の変化がリソソームに与える影響	第127回日本解剖学会総会・全国学術集会、オンライン開催、2022年3月28日	
国内学会発表	7	横田睦美、角田宗一郎、吉野佑太郎、志賀孝宏、石川景一、岡野栄之、服部信孝、赤松和土、小池正人、	TH-GFP iPS細胞を用いたGFP陽性ドパミン神経細胞のRNA-seq解析、	第127回日本解剖学会総会・全国学術集会、オンライン開催、2022年3月28日	
国内学会発表	8	小池正人、北村絵里、平山貴士、砂堀毅彦、亀田浩司、日置寛之、竹田省、板倉敦夫、小池正人、	Susceptibility of subregions of prefrontal cortex and corpus callosum to damage by oxytocin-induced labor in male neonatal mice.	第127回日本解剖学会総会・全国学術集会、オンライン開催、2022年3月28日	
国内学会発表	9	脇坂啓子、日置寛之、佐藤栄人、川口大地、柴佳保里、井下強、野田幸子、石田葉子、後藤由季子、今居譲、服部信孝、	Physiological mitophagy on astrocytes in development of midbrain ~viewpoint of Parkinson's Disease.	第63回日本神経学会学術大会、東京国際フォーラム、2022年5月21日	
国内学会発表	10	有馬洋道、岡本和樹、高橋慧、小池正人、日置寛之、	マイネルト基底核コリン作動性ニューロン軸索の単一細胞レベル解析	第45回日本神経科学学会、沖縄コンベンションセンター、2022年6月30日	
国内学会発表	11	倉本恵梨子、田中康裕、日置寛之、後藤哲哉、金子武嗣、	マウス大脳皮質の運動関連領域において、第6層の皮質視床ニューロンの軸索側枝は、パルプアルブミン陽性ニューロンに優先的に神経結合する、	第45回日本神経科学学会、沖縄コンベンションセンター、2022年6月30日	
国内学会発表	12	亀田浩司、岡本慎一郎、小池正人	Temporal changes of subcellular locations of alpha-synuclein aggregates in mice.	第45回日本神経科学学会、沖縄コンベンションセンター、2022年6月30日	
国内学会発表	13	高橋慧、小林朋世、岡本慎一郎、山内健太、岡本和樹、小池正人、伊佐正、日置寛之、	マウス前障におけるGABA作動性神経細胞の形態学的解析、	第45回日本神経科学学会、沖縄コンベンションセンター、2022年7月1日	
国内学会発表	14	山内健太、星野希沙良、石田葉子、小池正人、日置寛之	ナノボディをチラミッドシグナル増感法により検出する三次元免疫組織化学法の開発	第45回日本神経科学学会、沖縄コンベンションセンター、2022年7月2日	
国内学会発表	15	岡本和樹、小池正人、日置寛之、	海馬において興奮は長軸に、抑制は短軸に伝わる、	第45回日本神経科学学会、沖縄コンベンションセンター、2022年7月2日	
国内学会発表	16	柳下晴也、岡本和樹、郷康広、池谷裕二、佐々木拓哉、	Gene expression profiles in neurons recorded by in vivo extracellular recordings、	第45回日本神経科学大会、沖縄コンベンションセンター、2022年7月2日	
国内学会発表	17	高橋慧、小林朋世、水間温日、岡本慎一郎、山内健太、岡本和樹、小池正人、渡辺雅彦、伊佐正、日置寛之、	マウス前障におけるGABA作動性神経細胞の形態学的解析、	第110回日本解剖学会関東支部学術集会、群馬大学、2022年10月1日	
区分	番号	講演者名	講演タイトル	学会名、場所、発表年月日等	国際共同
特別講演・招待講演	1	日置寛之	組織透明化技術と電子顕微鏡技術の融合によるマルチスケールイメージング	日本顕微鏡学会第78回学術講演会、ビッグパレットふくしま、2022年5月11日	

特別講演・招待講演	2	小池正人	PRKN 変異患者iPS細胞由来GFP標識ドパミン神経細胞の超微形態学的解析	日本顕微鏡学会第78回学術講演会、ビッグパレットふくしま、2022年5月13日
特別講演・招待講演	3	日置寛之	アデノ随伴ウイルスベクターを用いた神経回路研究の基礎と応用	第6回神経代謝病研究会、東京慈恵会医科大学3号館講堂、2022年6月25日
特別講演・招待講演	4	日置寛之	AAVベクターが切り拓く神経ネットワーク解析の新展開	第22回WAKO Web受託セミナー、オンライン開催、2022年6月29日
特別講演・招待講演	5	曾友深	ゴルジ体酸性環境が担う細胞内機能の解明	第41回日本糖質学会年会、大阪大学、2022年9月29日
特別講演・招待講演	6	日置寛之	脳回路構造のランドデザイン解読を目指して	順天堂大学イメージングセンターキックオフシンポジウム、順天堂大学、2022年11月13日